

祝 令和5年度ながさき農林業大賞受賞者の紹介

令和5年11月18日（土）、長崎市内において、「令和5年度ながさき農林業大賞」の表彰式が行われました。この賞は、県内各地で地域の特性を活かしながら魅力ある農林業経営を展開している優れた農林業者を表彰するもので、県央振興局管内からは、6経営体3組織が受賞されました。

受賞された皆様おめでとうございます。
今後ますますのご活躍を祈念いたします。



長崎県知事賞

トップファーマー（花き部門）

野田 伸一さん・桂子さん（諫早市）

【経営概況】

1. スカビオサ 30 a
2. その他草花 35 a、水稻・WCS 85 a

【主な受賞理由】

- ・県内で初めてスカビオサの本格栽培を開始し、品種選定を行い、交配によるオリジナル系統を多数作出しており、自らが求める特性を持つ品種の育成と、それに合わせた栽培方法、増殖技術を独自に開発しながら、高い収益が見込める品目として技術確立を行った。
- ・オリジナル品種については、他にない花色展開により市場の評価も非常に高く、海外への輸出にも取り組んでいる。
- ・全国的にも少ないフェンロー型ハウスをいち早く導入し、周年で安定的に栽培できる環境を整えるとともに、統合環境制御栽培を実践し、全国でも抜きん出た収量をあげ、高い生産性を実現している。
- ・伸一さんは、生産組織や地域農業者のリーダーとして活躍するとともに、桂子さんは、農業士として地域農業後継者の助言・指導を行うなど、ともに本県花き並びに地域農業の振興に大きく貢献している。



トップファーマー（特産部門）

尾上 和彦さん・美紀さん（東彼杵町）

【経営概況】

1. 茶 820a
2. 水稻 30a

【主な受賞理由】

- ・就農後、茶園や山林を購入して茶園の大区画化を図り、規模拡大に積極的に取り組む等、県内トップクラスの経営体である。
- ・県内でもいち早く新品種「つゆひかり」、「さえみどり」を導入するなど、優良品種への改植を積極的に進め、早生品種から晩生品種まで幅広く植栽することで、作期の分散化による適期摘採が行われており、高品質茶生産を行っている。
- ・品評会でも常に上位入賞し、全国茶品評会の蒸し製玉緑茶の部で、日本一となる優等一席農林水産大臣賞を受賞するなど、自らの茶のみならずそのぎ茶ブランドの全国での認知度向上・確立に貢献している。
- ・平成30年に、地域の若手生産者とともに需要が高まっている^{てんちゃ}碾茶生産に取り組む株式会社FORTHEESを設立、碾茶の海外輸出への取組を先導し、アメリカやオランダでのプロモーション活動を積極的に行った結果、株式会社FORTHEESは、県内最大の茶の輸出事業者となっている。



いきいきファーム(地産地消・食農部門)

株式会社 彼杵の荘 (東彼杵町)
(代表取締役 岡崎 省三さん)

【主な受賞理由】

- 平成14年にオープンし、土地と建物は町が保有、経営を「株式会社 彼杵の荘」が行う公設民営直売所である。
- 直売所のスタッフによる高齢生産者への巡回集荷の際、「消費者の声」を届けることにより、生産者の生産意欲の継続に繋がっている。また、東彼杵町の特産である「そのぎ茶」やいちごを使ったスイーツの販売、個々の生産者のお茶が購入できる「お茶コーナー」も設置しており、店内でのお茶の売上は、年々伸びている。
- 茶生産者が行う「お茶を急須で提供する試飲」など定期的なイベントにより、「そのぎ茶ファン」の拡大に繋がっている。また、郷土料理「クジラのだご汁」は併設するレストランで常時提供するだけでなく、年1回のイベントでは無料提供も行っており、伝統料理の継承の一役を担っている。
- 食育の推進として、学校からの要請により地元小学生を対象に、毎年、芋掘り体験を行うほか、職員が小学校に出向き、東彼杵町の農業やSDGsに関する講話を行っている。
- 山間部の放棄竹林対策として、生産者と協働で竹パウダーの製作・販売や竹パウダーを利用した野菜の販売も行うなど、地域と密着した環境保全・資源循環の取組を実践している。



げんきビレッジ(農山村地域保全部門)

東彼林業研究会 (川棚町・波佐見町)
(会長 松本 義法さん)

【主な受賞理由】

- スギ林内での大規模なハラン栽培に県内でいち早く取り組み、各会員が管理、収穫して、定量出荷による供給の安定化を図り、市場に対するハラン産地の信頼づくりに努めている。
令和4年次は、約25万枚を生産し、県内産ハランの7割以上の生産量を誇る。
- シマハラン生産において、斑入が減少し、商品価値が下がる「青葉化」対策として、県農林技術開発センターが技術開発した「クローン増殖技術(1節挿し増殖法)」を導入して単収の高い斑入のシマハラン増殖を会員が進めている。このような新たな取組を九州地区の林業研究グループ研修大会において発表するなど、意欲的に活動している。
- 森林体験学習や椎茸収穫体験等の自然と触れ合う体験への取組により、農山村地域の魅力を発信することに繋がり、観光客や地域内外の交流人口拡大に貢献している。
また、地域の森林を活かした環境教育を通じて農業や林業に関心を持つ人材の育成が期待でき、地域活性化や次世代育成に努めている。



運営委員会長賞

トップファーマー／露地野菜部門

木下 隆一郎さん（諫早市）

【経営概況】

1. たまねぎ320a
2. キャベツ30a、かぼちゃ20a、ニガウリ25a、水稻130a

【主な受賞理由】

- 平成28年の就農開始以降、基盤整備地を中心とした農地利用と遊休農地解消により作付面積を2倍に拡大しており、県央たまねぎ部会トップの作付面積、出荷量を誇っている。
- 高単価販売、低農薬栽培が可能な超極早生、極早生たまねぎ中心の経営にシフトしてきているほか、省力化機械や個人育苗をいち早く取り入れるなど、部会内の先導的な生産者である。
- 土壌改良及び諫早湾の水質改善のため、たまねぎ後作での緑肥栽培による土壌流亡対策や、地域リーダーとして有害鳥獣対策をはじめとする農村の環境整備にも積極的に取り組まれている。



トップファーマー／施設野菜部門

平 利樹さん・真由美さん（長崎市）

【経営概況】

1. いちご 28a
2. ハウスすいか他 80a

【主な受賞理由】

- 施設野菜の複数品目（いちご、ハウスすいか他）で経営を行うことでリスクを分散し、経営安定を図っている野菜専門の経営体である。
- 地域でもいち早く環境制御技術を取り入れ、部会内に積極的に推進。令和元年には、長崎型統合環境制御装置を導入し、データを基にしてハウス内の機器類を一体的に制御する環境を整えた。
- 生産者自らが考える部会組織にするため、現地検討会は全圃場で開催することを提案し、現在も実践している。県内部会で1位の単収を獲得後も、環境データを部会員全員が共有できる体制を整備することで、部会員同士の情報交換が活発となり、部会のさらなる単収向上に寄与した。
- 就農希望者を地域で積極的に受入れ、手厚いフォローアップを行っており、さらに部会長として若手が発言しやすい環境を整えることで、新規就農者の継続的な加入に繋がる等産地の発展に寄与している。



トップファーマー／果樹部門

堀 秋利さん・衣梨さん（諫早市）

【経営概況】

1. 温州みかん（ハウス）50a
2. 肉用牛7頭、ゴーヤ17a、水稻11a

【主な受賞理由】

- ハウスみかんを中心とした経営体であり、近隣の休園していたハウスを借り受け、規模拡大を行っている。
- 安定生産に向けて老木園の改植に積極的に取り組み、天井ビニールの3重化や循環扇による温度ムラの解消等の省エネ対策を実践している。
- 平成19年から令和2年まで農業士として、青年農業者の育成にあたるなど、地域農業振興に大きく貢献している。



トップファーマー／農産部門

川口 太さん・秀一郎さん・豊子さん・沙貴さん（諫早市）

【経営概況】

1. 大豆2050a、大麦1180a、小麦800a、水稻230a
2. いちご28a

【主な受賞理由】

- ・諫早湾干拓地の大区画圃場を活用した麦、大豆の大規模土地利用型経営を中心に、水稻、施設栽培（いちご）に家族経営で取り組んでいる。
- ・麦、大豆では、大型機械によるスケールメリットを活かした農業を営み、いちごでは全面積で高設栽培、自動谷換気設備など省力、低コスト化に取り組んでいる。
- ・共同所有する土壌分析機械を活用した分析データに基づく施肥を実施し、施肥コストと環境負荷の低減に務めている。
- ・地域の農業者と作付計画の協議を実施し、連作障害に苦慮している農業者の圃場との交換を行うことで、産地全体の安定生産にも寄与している。



いきいきファーム／産地集団部門

長崎県央農業協同組合 小串トマト組合（川棚町）
（組合長 吉本 明徳さん）

【主な受賞理由】

- ・組合員数5戸の小規模な組合であるが、高い技術力を活かして高糖度トマトを生産する組合であり、糖度測定可能な光センサーを導入するなど共同選果体制を構築し、「小串トマト」ブランドを作り上げ、高単価を維持している。
- ・平成30年度には、全戸でモニタリング装置を導入し、環境制御技術の勉強会を積極的に行うことで、新たな技術の習得と後継者を育成している。
- ・出荷先の市場においても「小串トマト」の評価は高く、安定した取引先を確保するとともに、町内においてもブランドが認知されており、町内の飲食店では、小串トマトやその加工品を使用したメニューの提供が行われ、町の活性化にも大きく貢献しており、県内産地の参考になる優れた組織である。



長崎・西彼地域農業振興協議会長賞

【果樹部門】

一瀬 利久さん・貢さん
（西海市／温州みかん・ハウスびわ）

【畜産部門】

岩本 剛さん・博子さん（西海市／肉用牛）

県央地域農業振興協議会長賞

【畜産部門】

山口 裕紀さん・壽博さん（東彼杵町／繁殖牛、水稻）